



学童保育の量と質の向上は急務

池川友一(日本共産党)
問 学童保育クラブの大規模化が深刻。増設を軸に質の改善をすべきだがどうか。
子 子ども生活部長 安全かつ安心して過ごせる生活環境を整備し、健全な成長を支援するための今後5カ年間の取り組みの方向性をまとめました。
問 夏休みなど長期休み期間の子どもの居場所確保について市の方策を問う。
子 子ども生活部長 認可保育所と認定こども園のオープン事業として、学童一時預かり事業を計画しています。
問 教育予算削減で教育活動に影響が出ている。検証を行い予算確保すべきだがどのように対応するのか。
子 学校教育部長 校長会や事務職員会にヒアリングを行い、検証を進めているところですが、16年度については、検証内容を踏まえ、予算編成を行いましたと考えています。



山崎小学校敷地内の山崎学童保育クラブ (平成27年4月に新設)



商店街活性化と防災対策

戸塚正人(まちだ市民クラブ)
問 町田に長期的に企業や商店が定着できる環境整備と制度策定を求めているが。
子 経済観光部長 新しい方たちが町田に商売のほうで商いと定着していくには、イベントだけではなくて幅広く支援していきけるような制度、これからどういったものがあのか、どういった支援ができるのか研究していきたい。
問 土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定された箇所について、指定箇所の詳細を調査し、特に市有地に関して安全対策の計画方針を策定し、早急に対策を取るべきと考えるがどうか。
子 防災安全担当部長 市で把握している施設の中で警戒区域に入っているところもあり、ハード対策になるのか、その辺に関して、現在施設管理者のほうでどういう形で対応していくか検討中です。



中学校給食の居場所

田中のりこ(まちだ市民クラブ)
問 食料基準を遵守し、試食会でも好評の中学校給食。しかし弁当給食を受け取りに行く時間がかかり、食事時間が5分になるケースも多発。時間の確保は工夫は。
子 学校教育部長 時間内に食べ終わらない生徒は、昼休み時間も続けて食べられるように、今後も各学校で配慮していきたい。配膳方法などの工夫は各学校で状況が異なるので、検討していきたい。
問 子どもが抱える様々な悩みを受け皿となる場所の整備は緊急課題。子どもマスタープランの成果は。今後は。
子 子ども生活部長 子どもセンターは、建設中の町田地域で5館目が終わります。現在の子どもセンターからの距離等を勘案して、7つの中学校区に順次整備していくこと、新・町田市子どもマスタープランの中で案としています。



広域道路計画・境川流域の治水

佐藤伸一郎(自由民主党)
問 小山区を取り巻く広域道路計画の取り組みを問う。
子 山田副市長 通称第4次事業化計画に位置づける必要があるため、東京都と協議を行っているところですが、加えて、東京都と神奈川県をつなぐ道路ですので、相模原市とも連携して協議を行っています。
問 境川流域の治水対策の取り組みを問う。
子 下水道部長 河川の早期整備を要請するとともに、流域自治体として境川の治水安全度の向上に努めていきます。
問 市民と行政の共有の財産である行政文書の管理については全庁を挙げて取り組むべきと考えるがどうか。
子 総務部長 過去の出来事などを踏まえての基本的な材料となることを認識し、次の世代に引き継げるよう、基準をさらにわかりやすくするなど、今後も慎重に行っていきます。



PF I 等官民連携の推進

山下つや(公明党)
問 PFI事業等官民連携の全庁的な取り組みを推進する体制を整備すべき。
子 政策経営部長 市の施設等を効率的に維持管理していくには、当然部門横断的な連携が必要になり、そういった体制、仕組みづくりについても検討していく必要があります。
問 モノレール路線導入空間整備に伴う周辺まちづくりに対する住民の期待は大きい。市はどう考えるのか。
子 都市づくり部長 住む人の訪れる人の視点、土地利用の需要の動向や地域特性を勘案しながら検討していきます。
問 紙おむつ支給事業について現行の65歳を40歳以上に年齢制限見直しを。
子 いきいき生活部長 高齢者施策としての要件の緩和は難しいと考えています。近隣市の状況をもっと確認しながら研究していきたい。



地域防災訓練、更なる市の役割

おぜき重太郎(まちだ市民クラブ)
問 地域の防災訓練において市に更に積極的に関与して欲しい。
子 防災安全担当部長 訓練内容により市職員、消防団、消防署が対応することとしており、市職員が担当するものは防災講話があります。講話は自主防災組織だけではなく地域の各種団体も対象としていきます。また、避難施設関係者連絡会が企画実施する避難施設開設訓練においても、市職員は参加しています。
問 地域防災の担い手である消防団に対する市の認識は。
子 防災安全担当部長 以前から地域の自主防災組織などに対し積極的に訓練指導を行っています。団員会議においても、市民の皆様や自主防災組織との連携、防火の呼びかけなど地域防災の中核を担う消防団の活動について、活発な議論が行われている状況です。



障がい差別解消ひきこもり支援

石井けいのり(まちだ市民クラブ)
問 職員が障がい者に適切に対応するための要領策定は努力義務だが、必要では。
子 総務部長 具体例を示す対応要領の策定については、法の趣旨にのっとり今後策定する方向で考え、現在は情報を収集している段階です。
問 特別支援学校・学級に通う子どもに加え、保護者の交流もしてはどうか。
子 学校教育部長 今後は、町田の丘学園と連携を図りながら保護者同士の交流、そういうことも考えていきたい。
問 ひきこもり当事者が支援を選べるようHPを整理し、支援機関と内容を一望できるようにしてはどうか。
子 保健所長 ホームページをわかりやすく改良したり、自分に合った支援を選べる情報提供は重要であると認識し、そうした工夫は今後行っていく必要があると思います。



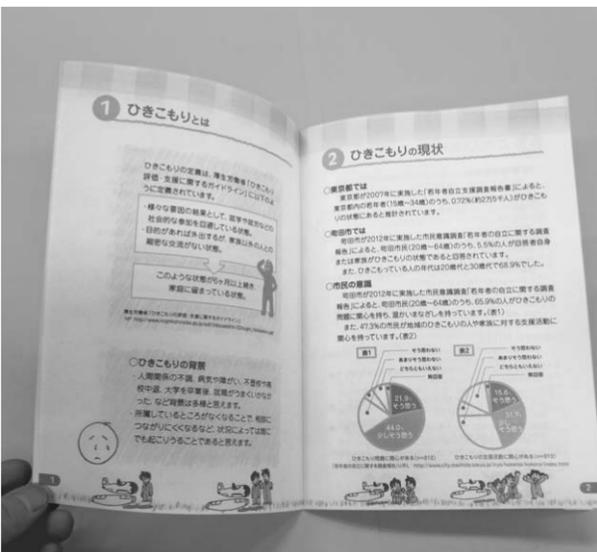
がん教育の推進

松葉ひろみ(公明党)
問 個人番号カードを、地域センターでも受け取れるようにしてはどうか。
子 市民部長 大切な個人情報であるため、市民センターへの移送については慎重、確実に行う必要がある、時間がかかることから、現在のところ市民センターでのお渡しは考えていません。
問 29年度以降、小中高校でがん教育が実施されるが町田市でも充実したがん教育の実施を求めているがどうか。
子 学校教育部長 2017年度以降、がん教育を充実させるよう、カリキュラムの充実を図りたいと考えています。
問 忠生市民センターにはキッズコーナーはあるが、保育室を設定しては。
子 市民部長 センター施設の一角を保育室として設定し、できる限り早い時期に条例化していきたいと考えています。



新年度予算編成の方針

佐々木智子(日本共産党)
問 2016年度予算編成の方針で補助金及び扶助費が重点見直し項目とされたが、実施目的と対象事業は何か。
子 財務部長 いわゆる上乗せ、横出し部分を中心とした市の単独事業をゼロベースで見直すことで、健全な財政を継続したいと考えています。
問 中学3年生までの子ども医療費助成を拡充し、窓口負担をなくすべきだがどうか。
子 子ども生活部長 拡充については、財政面の問題等を考慮すると当面困難であると考えています。
問 「子ども子育て支援新制度」実施後の待機児童解消はどのように進んでいるか。
子 子ども生活部長 15年4月の段階で待機児童は153人で、14年4月と比べると50人の減少となっています。今後事業計画に基づいて、保育所等の整備を進めていきます。



「ひきこもりのご家族の方へ」リーフレット 町田市HPからもダウンロードできます。

用語の解説 本文中の青文字の解説です

- ◎データヘルス 【2面】 医療保険者が電子的に保有された健康医療情報を活用した分析を行った上で行う、加入者の健康状態に即したより効果的・効率的な保健事業。
- ◎パーク・アンド・ライド 【2面】 都市部や観光地などの交通渋滞緩和のため都市部や観光地から離れた場所に設けた駐車場に自家用車を停車させ、そこからバスや鉄道に乗りかえて目的地に行く方法。
- ◎マンホールトイレ 【3面】 避難所にマンホールを設置し、災害発生時にはその上に簡易トイレとテントを設置して使用するトイレ。通常の仮設トイレに比べ汲み取りの手間が省け、断水が続き水洗トイレが使えない場合や、パキュームカー不足のケース等でも使用が可能となる。

傍聴を希望される方は市庁舎3階の

議事室で傍聴

本会議・委員会のインターネット放映を行っています。